

科目名	幼児と健康			担当教員	内藤 譲、内藤 譲	
単位	1単位	講義区分	演習		ナンバリング	ED1CSR101
期待される学修成果	教科教育 態度					
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	領域「健康」のねらいと内容について理解を深め、子どもの健康な心と体を育むための基礎的な知識や保育現場での実践力を身につけることができる。また、幼児の健康課題を探究するための素養を培うことができる。					
授業の概要	領域「健康」のねらいを踏まえ、幼児期における心身の発育・発達の特徴や健康的な生活習慣のあり方、健康と身体活動の関係について、さまざまな健康問題を通じて学ぶ。また、幼児の健康維持・増進を目的とした保育プログラム、特に運動遊び指導プログラムに焦点を当て、現場での指導方法を実践を交えて学ぶ。 【デジタル技術利用 該当番号①、④】					

授業計画	
第1回	ガイダンス、幼児にとっての健康とは
第2回	幼児期の心身の発育・発達
第3回	幼児の健康的な生活習慣のあり方
第4回	幼児の身体活動の現状と課題
第5回	保育現場における安全管理と安全教育
第6回	幼児の健康問題① ～ディスカッション～
第7回	幼児の健康問題② ～プレゼンテーション～
第8回	幼児期における運動の効果
第9回	保育現場における運動指導と留意点
第10回	運動遊びの実践と進め方
第11回	運動遊びの企画と実践指導準備
第12回	運動遊び実践 ～遊具を用いた遊び・伝承遊び等①～
第13回	運動遊び実践 ～遊具を用いた遊び・伝承遊び等②～
第14回	運動遊び実践 ～遊具を用いた遊び・伝承遊び等③～
第15回	幼児の健康の維持・増進のための保育、まとめ

事前学修		次回授業内容に関連した情報を参考資料等で調べておくこと。課題を提示した際は、各自、内容に即した準備を行うこと。
事後学修		授業内容を復習し、保育現場を想定した上で、気づいたことや追加で調べたこと等をノートや資料に記しておくこと。
フィードバックの方法	レポートは適宜個別または授業時に全体に向けてコメントする。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	0%	なし
レポート	80%	子どもの健康問題プレゼン資料と内容（40%）、運動遊び企画と実践指導（40%）。
上記以外の試験・平常点評価	20%	授業やグループワークへの取り組み姿勢、事前・事後学修の状況により評価する。

補足事項	
------	--

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
適宜、資料を配布する。	なし	なし	なし	なし
参考資料	『新時代の保育双書 保育内容 健康』：春日晃章編集代表、みらい、ISBN：9784860153502 『幼児期運動指針実践ガイド』：日本発育発達学会編、杏林書院、ISBN：9784764411531 『子どもの運動遊びバイブル』香村恵介他、株式会社みらい、ISBN：9784860154424 『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』：文部科学省・厚生労働省・内閣府			